

あなたの声を県政に、伝えよう私たちの心、夢かなうひょうごへ

ひょうご

県議会
だより議会広報PRキャラクター
「兵議博士」

よりよい兵庫へ 大きく動いた県議会

「9月定例会」の様子

第368回

9月定例会県議会の概要

9月19日～10月23日



定例県議会資料

知事から提出された予算・条例案などを審議し、総額160.3億円に及ぶ補正予算を可決しました。

予算及びその他議決案件 (計32件)

- 令和6年度兵庫県一般会計補正予算 (第1号)
- 令和6年度兵庫県一般会計補正予算 (第2号)
- 令和6年度兵庫県一般会計補正予算 (第3号)
- 個人番号の利用、特定個人情報の提供等に関する条例の一部を改正する条例
- 建築基準条例の一部を改正する条例 など

<補正予算概要>

- 県民生活の安定化・事業者の経済活動への支援 50.4億円
長引く物価高騰に苦しむ生活者・事業者を幅広く支援する観点から、地方創生臨時交付金を活用し、ひょうご家計応援キャンペーン第4弾を実施するとともに、国の「酷暑乗り切り緊急支援」の対象とならないLPガス利用者、特別高圧受電者への支援を実施。
- 県民生活の安全・安心の確保 59.5億円
ナガエツルノゲイトウ緊急防除対策や県民生活の基盤となる公共事業の内示増への対応といった、当初予算編成後に生じた財政需要に適切に対応し、県民生活の安全・安心の確保に速やかに取り組む。
- 衆議院議員総選挙事務費 27.0億円 (財源：国庫)
衆議院の解散に伴い、総選挙を実施。
- 知事選挙事務費 21.6億円
兵庫県知事への不信任決議案が可決され、9月30日に自動失職したことに伴い、兵庫県知事選挙を実施。
- 県議会議員補欠選挙事務費 1.8億円
県議会議員に欠員が生じたことに伴い、県議会議員補欠選挙を実施。

決算案件 (計22件)

- 令和5年度兵庫県一般会計歳入歳出決算など計22件を決算特別委員会で審査 (9月30日～10月18日) し、認定

決議 (計1件)

- 齋藤元彦兵庫県知事に対する不信任決議 (2面参照)

意見書 (計8件)

- 私立学校に対する助成に係る国庫補助制度の堅持及び一層の充実を求める意見書
- 公共施設等の老朽化対策や耐震化対策への財政支援の拡充を求める意見書
- 精神障害者に係る医療費助成の改善を求める意見書
- ゲノム編集技術応用食品の表示等について更なる検討を求める意見書
- 高齢化が進む地域における住宅耐震化促進を求める意見書
- 帯状疱疹ワクチンの定期接種化を求める意見書
- 下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書
- 地方財政の充実強化に関する意見書

請願 (計2件)

- 安全・安心を無視した無秩序なライドシェア新法制定に反対し、地域公共交通を守る施策の推進を求める意見書提出の件
- 私立学校に対する助成に係る国庫補助制度の堅持及び一層の充実を求める意見書提出の件



録画放送



上程された議案に対する質疑が行われました 9月19日

ひょうご家計応援 キャンペーンの展開方策



Q 第3弾までの経験と成果、検討課題を踏まえ、第4弾キャンペーンはどうか。例えばデジタル対応のサポートは商店街等でも展開してはどうか。

A これまでの高齢者向けサポートに加え、商店街を地域コミュニティの場と捉えた身近で細やかなサポート会の開催や、県が携帯電話会社や市町と実施しているデジタルデバイス対策との連携を検討する。民間事業者の最新の提案内容やノウハウも最大限活用し、効果的・効率的な県民向け家計応援キャンペーンを展開する。

キャンペーンに係る 事務費削減と情報格差解消



Q 今回の家計応援キャンペーン第4弾に係る事務費削減と、世代や地域間で開きがあるデジタルデバイス(情報格差)を起因とする利用率の差への改善策は。

A 登録店舗数が少ない地域に絞って、店舗集の広報を重点化することで、地域間格差の解消を図りつつ、事務費削減にも繋げる。利用率の世代間格差についての課題に対しては、高齢者への対面サポートを引き続き実施し、市町にも協力を求めていく。若年層には、1口5千円ずつ分けて入金可能であることを周知するなど工夫する。

ひょうご家計応援 キャンペーン第4弾について



Q 利便性を考慮し「はばタンPay+」と認知されている同じアプリを活用すべき。県民の家計負担が増す12月の早期利用開始が家計応援になるのではないかと。

A 利用期間は、家計支出が最も多い12月を含むことが望ましいと考える。民間事業者にも県にもこれまでのノウハウの蓄積があることから、1日でも早い開始を目指す。第3弾までのデータや経験を基に、県民への認知度向上や参加店舗拡大を効果的に推進し、長期化する物価高騰で家計負担が増大する県民の暮らしを下支えしていく。

ひょうご家計応援 キャンペーンの実施について



Q 新たにひょうご家計応援キャンペーンを実施するに当たり、虚偽の住所で申請することなどが想定されるが、居住地確認方法や虚偽申請時の対応について伺う。

A これまで同一人物による二重申請や他人へのなりすまし利用について、名寄せ作業による重複チェックや二段階認証の導入などを行い、不正申請を未然に防いできた。利用者登録情報に虚偽の疑いがある場合は事実確認を行い、不正手段が悪質な場合は県警に相談の上、利用中止にするなど、断固とした態度で取り組む。

兵庫棟、大阪・関西万博全体 からの避難計画等



Q 兵庫県ゾーン、関西パビリオン内、大阪・関西万博は、地震、津波、火災、ガス漏れなど各災害に応じた避難計画、避難マニュアルは整備されているのか。

A 万博会場の避難計画は、博覧会協会が「防災基本計画」を定め、それに基づき具体的な「実施計画」を作り、災害時の避難誘導や輸送手段の確保等を定めている。兵庫ゾーンは、基本的に関西パビリオンの災害対応方針に即した避難誘導等を行うが、県として今後策定する運営マニュアルに盛り込み、来場者の安全を確保していく。

ひょうご家計応援 キャンペーン第4弾の取組



Q 前回は、他府県の同様の取組と比較しどうだったか。また、前回の課題を踏まえ今回工夫したところは。利便性を考えて、期間を延ばすことができないか。

A 本県の第3弾申込者数は約70万人、他の3県は4万人、20万人の申込を想定。プレミアム額も本県は約34億円、3県は4、000万円、8億円と、実施規模は本県が圧倒している。工夫した点は、スマホ操作に不慣れた高齢者へのサポートのさらなる充実を検討する。利用期間は、国交付金活用のため延長は困難だが、早期スタートを目指す。

齋藤知事に対する不信任決議案を全会一致で可決しました 9月19日



録画放送

齋藤元彦兵庫県知事に対する不信任決議

元県民局長が齋藤知事はじめ県幹部に向けた告発文書を巡る一連の問題が惹起されてから、約半年が経過した。県政は混乱を極め、156年の歴史を誇る我が雄県兵庫は危機的状況に直面している。

まず、文書問題調査特別委員会の調査の中で、告発文書の内容に真実が存在し、文書が「嘘八百」ではなく、告発者への対応が告発者探しや情報漏洩の疑いを指摘されるなど不適切と言わざるを得ないことが明らかになったにもかかわらず、知事は「真実相当性がない」、「誹謗中傷性が高い」として県の対応は適切であったとしているが、専門家は公益通報者保護法の見地から「兵庫県は今も違法状態」と断じている。現時点で詳細な要因は明らかでないが、元県民局長の命を守れなかったという厳然たる事実は大変重く、責任は大きい。

次に、日本国憲法に則り県民の生命と財産を守ることを使命とする行政の長たる知事の職責を果たすためには、県民・県職員の模範として、法令遵守は当然のことながら、人として守るべき倫理・道徳や人権感覚に基づく道義的責任がより強く求められるが、「道義的責任が何かわからない」と

の知事の発言から、その資質を欠いていると言わざるを得ない。

そして、告発文書への初動やその後において、対応が不適切、不十分であったことにより、県民の信頼を損ない、県職員を動揺させ、議会を巻き込み、県政に長期に渡る深刻な停滞と混乱をもたらしたことに対する政治的責任は免れない。本県及び県民の誇りを失墜させてしまった今、県民及び県職員からの信頼回復は到底見込めず、県政改革を着実に進めなければならぬこの大変重要な局面において、齋藤県政がそれに応えることは困難な状況である。

ここまで申し述べたとおり、齋藤知事の責任は重大である。これ以上の県政の停滞と混乱、県益の損失は許されるものではなく、県民本位の健全な県政と職員が安心して働ける職場を一日も早く取り戻し、来年度予算は新たに県民の信任を得た知事の下で編成されるべきである。

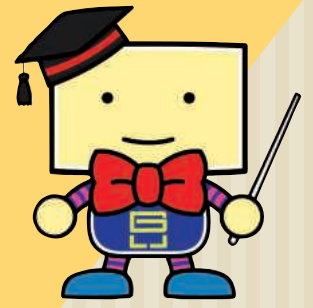
よって、本県議会は、齋藤元彦兵庫県知事を信任しない。

以上、決議する。

令和6年9月19日 兵庫県議会

百条委員会についてお伝えします

告発文書の7項目の真偽と公益通報者保護について調査するため、兵庫県議会として51年ぶりに百条委員会（委員会名：文書問題調査特別委員会）を設置しています。



百条委員会とは

地方自治法第100条に基づき地方議会が設置する特別委員会の一つ
虚偽の証言、正当な理由がない証言拒否や記録の不提出等には罰則もある強い調査権をもつ

開催日	主な審議の項目
第1回 令和6年 6月14日(金)	① 委員長、副委員長の互選 ② 委員会の運営要領案決定
第2回 令和6年 6月27日(木)	① 諸報告 ② 証人尋問及び資料要求の手続き ③ 今後のスケジュール ④ 資料提出及び証人出頭の要求 ⑤ 職員アンケートの実施 ⑥ 知事への申し入れ事項協議
第3回 令和6年 7月19日(金)	① 諸報告 ② 提出資料 ③ 資料配付等の申し出の取扱い ④ 法的アドバイザーの選任 ⑤ 職員アンケートの実施 ⑥ 証人尋問の取扱い ⑦ 今後のスケジュール ⑧ 資料提出の要求
第4回 令和6年 8月 2日(金)	① 諸報告 ② 証人尋問の進め方 ③ 資料提出の要求 ④ 証人出頭の要求 ⑤ 次回委員会の進め方
第5回 令和6年 8月23日(金)	① 資料提出の要求 ② 職員アンケート調査の中間報告 ③ 第7回及び第8回の委員会の証人尋問項目 ④ 第6回委員会の進め方 ⑤ 本日の証人尋問の進め方 ⑥ 証人尋問（県幹部職員6名）
第6回 令和6年 8月30日(金)	① 資料提出の要求 ② 証人出頭の要求及び参考人招致 ③ 本日の証人尋問の進め方 ④ 証人尋問（齋藤知事及び県幹部職員4名）

開催日	主な審議の項目
第7回 令和6年 9月 5日(木)	① 証人の不出頭 ② 本日の証人尋問の進め方 ③ 参考人招致（上智大学 奥山俊宏教授） ④ 証人尋問（兵庫県特別弁護士及び県幹部職員3名等）
第8回 令和6年 9月 6日(金)	① 発言訂正の申出 ② 本日の証人尋問の進め方 ③ 証人尋問（片山元副知事） ④ 参考人招致（山口利昭弁護士） ⑤ 証人尋問（齋藤知事） ⑥ 資料提出の要求 ⑦ 本委員会の調査項目の追加
第9回 令和6年10月11日(金)	① 今後の委員会の進め方 ② 職員アンケート調査の集計結果 ③ 資料提出の要求 ④ 証人出頭の要求
第10回 令和6年10月24日(木)	① 本日の証人尋問の進め方 ② 証人尋問
第11回 令和6年10月25日(金)	① 資料提出の要求 ② 当面の「聞き取り調査」の実施内容 ③ 本日の証人尋問の進め方 ④ 証人尋問

〈今後のスケジュール〉

令和6年11月：証人尋問(総括)

～令和6年12月：調査報告書のとりまとめ

※予定は変更になる場合があります

<文書問題調査特別委員会の詳細はこちらから>



各種資料



録画放送



議事録



文書問題調査特別委員会の様子



県議会 ニュース

○県政改革調査特別委員会

分収造林事業や地域整備事業といった、今後の行財政運営に大きな影響を与える課題等に対し、県議会としても積極的な調査を行うため、「県政改革調査特別委員会」を設置し、現在熱心な議論が進められています。



録画放送



○「ひょうご県議会だより 高校生WEB版」

若者向け議会広報ポータルサイト「ひょうご県議会だより 高校生WEB版」を今年3月に開設し、現在10のコンテンツを掲載中です。

高校生が制作者となって、議会にすくどく切り込んだバラエティあふれるコンテンツが好評を得ています。

今後も新しいコンテンツをぞくぞくと掲載予定！どうぞご期待ください！！



制作打合せ



高校生WEB版

○地方議会協議会の開催（8月2日）

市議会・町議会・県議会の3者が対等の立場で、「地域創生」に関する意見交換を行い、その成果を発信・実践することで、地域創生の実現を目指します。

今年度は「少子化対策への取組について」及び「若者・Z世代が輝く兵庫づくりと主権者教育について」をテーマに、熱心な議論が繰り広げられました。



○常任委員会の地域開催

県民の皆様へ県議会の役割や機能について、一層の理解促進を図るため、常任委員会を地域でも開催しています。

今年度は、8月に農政環境常任委員会を阪神北地域において、また、10月に健康福祉常任委員会を東播磨地域において開催しました。

【農政環境常任委員会】

と き 8月28日（水）

テーマ 「農業生産基盤及び農村環境の整備・保全」
「主要農作物の生産振興」

開催地 宝塚市



【健康福祉常任委員会】

と き 10月30日（水）

テーマ 「児童虐待・DV防止対策等の推進」

開催地 明石市

